

2019年3月期
第3四半期 決算説明資料

2019年1月30日
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

目次

1. **業績予想の修正について**
2. 2019年3月期第3四半期の業績
事業セグメント別の実績
 - ü 再生医療製品事業
 - ü 再生医療受託事業
 - ü 研究開発支援事業
3. 開発パイプラインの進展
4. 再生医療の普及に向けた活動



2019年3月期 通期業績予想（修正）

- ✓ 売上高は、当初予想（前年比135.6%）よりも737百万円減少し、2,343百万円（前年比103.1%）となる見込み。売上高の減少に伴い、営業利益は 415百万円、経常利益は 405百万円、当期純利益は 413百万円となる見込み。
- ✓ 2019年3月期では、自家CAR-T細胞治療薬の開発に関するライセンス契約 に伴う導入費用（契約一時金の支払い）の発生等により、第1四半期の営業利益が 441百万円となったが、第2四半期以降これを挽回すべく売上伸長に取り組んできた。
しかし、以下（次ページ）の理由により当初予想を修正することを決定した。

2018年6月21日付「名古屋大学・信州大学との、CD19陽性 急性リンパ性白血病の自家細胞由来治療薬開発に関するCAR-T細胞の製造技術の特許ライセンス契約締結に関するお知らせ」参照

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は千円単位で計算)	2018年3月期 実績	修正前		修正後	
		金額	前年比	金額	前年比
ジェイス	1,078	1,111	103.1%	948	87.9%
ジャック	309	511	165.3%	409	132.4%
再生医療製品事業	1,387	1,622	116.9%	1,358	97.8%
再生医療受託事業	785	1,338	170.5%	862	109.8%
研究開発支援事業	98	119	121.3%	123	124.6%
売上高	2,271	3,080	135.6%	2,343	103.1%
営業利益	211	49	-	415	-
経常利益	213	42	-	405	-
当期純利益	227	53	-	413	-

2019年3月期 通期業績予想（修正）

✓ 通期売上高予想を修正する主要な理由は、以下のとおり。

自家培養表皮ジェイスの売上高減少

ジェイスは前年に比べ、重症熱傷の発生減による受注が少ない状況が続いたことが減少の理由。第3四半期累計期間の売上高実績に今後の業績動向を勘案し、通期売上高を1,111百万円（前年比103.1%）から948百万円（前年比87.9%）に修正。

自家培養軟骨ジャックの計画修正

ジャックの売上は、新規施設からの受注も増え、2018年10月には過去最高の単月移植症例数を記録するなど、着実に増加。一方で、骨膜の代わりに人工のコラーゲン膜を使う一部変更承認申請を4月に提出し、ジャックの低侵襲化・移植手技の簡便化への対応を進めているが、12月末時点では審査継続中で承認に至らなかった。当社としては第3四半期での承認取得と売上拡大への寄与を目指していたが、これが遅れたため、第3四半期累計期間の売上高実績に今後の業績動向を勘案し、通期売上高を511百万円（前年比165.3%）から409百万円（前年比132.4%）に修正。

再生医療受託事業の計画修正

開発コンサルティング及び開発製造受託の新規受注及び顧客数は増加しているものの、詳細仕様決定や契約締結に想定以上の時間を要しており、目標とする売上に対しては遂行が遅れている。一つ一つの受託案件を確実に前進させ事業の拡大を目指す。第3四半期累計期間の売上高実績を踏まえ、通期売上高を1,338百万円（前年比170.5%）から862百万円（前年比109.8%）に修正。

目次

1. 業績予想の修正について
2. 2019年3月期第3四半期の業績
事業セグメント別の実績
 - ü 再生医療製品事業
 - ü 再生医療受託事業
 - ü 研究開発支援事業
3. 開発パイプラインの進展
4. 再生医療の普及に向けた活動



損益計算書の概要

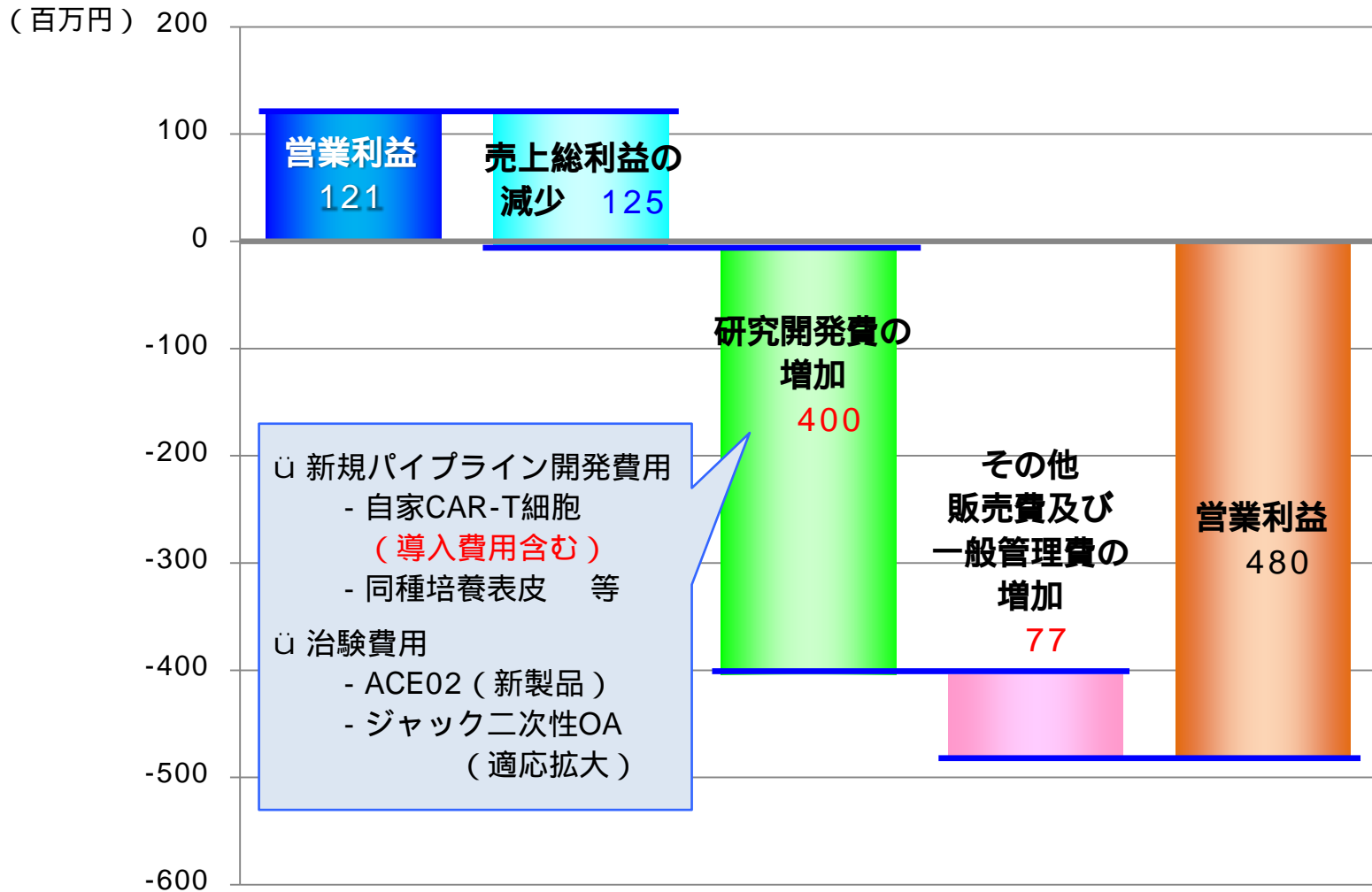
単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は千円単位で計算)	2018年3月期		2019年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	対前年同期		通期予想 (1月30日発表)
				増減額	増減率	
売上高	1,609	2,271	1,537	71	4.4%	2,343
売上総利益	943	1,353	818	125	13.3%	-
販売費及び一般管理費	821	1,141	1,298	477	58.1%	-
営業利益	121	211	480	602	-	415
経常利益	121	213	472	594	-	405
四半期純利益	106	227	485	591	-	413

- ✓ 第3四半期累計期間の売上高は、重症熱傷の発生減によるジェイス（熱傷）の売上減等により前年同期に比べ減少し、対前年同期 71百万円の1,537百万円。
- ✓ 販売費及び一般管理費は、新規パイプラインの導入および開発費用等による研究開発費の増加により、対前年同期+477百万円。
- ✓ 営業利益は、対前年同期 602百万円の 480百万円。

営業損益増減の内訳

2018年3月期
第3四半期累計実績

2019年3月期
第3四半期累計実績



セグメント別の売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は千円単位で計算)	2018年3月期		2019年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	対前年同期		通期予想 (1月30日発表)
				増減額	増減率	
ジェイス	887	1,078	696	190	21.5%	948
ジャック	238	309	281	43	18.2%	409
再生医療製品事業	1,125	1,387	978	147	13.1%	1,358
再生医療受託事業	410	785	473	62	15.3%	862
(ラボサイト) 研究開発支援事業	72	98	85	13	18.1%	123
売上高合計	1,609	2,271	1,537	71	4.4%	2,343

- ✓ 再生医療製品事業は、対前年同期比 147百万円、13.1%の減少。
- ⊗ 自家培養表皮ジェイスは、前年に比べ重症熱傷の発生数減の影響大。
- ⊗ 自家培養軟骨ジャックは、前年同期に比べ売上増加。10月には過去最高の単月移植症例数を記録。
- ✓ 再生医療受託事業は、新規受注及び顧客数が増加し、対前年同期比62百万円、15.3%の増加。
- ✓ 研究開発支援事業は、対前年同期比13百万円、18.1%の増加。

貸借対照表の概要

(単位：百万円)	2018年3月期 2018年3月31日	2019年3月期 2018年12月31日	増減額	
流動資産	7,094	6,581	512	新規パイプラインの研究 開発費支払及びその他流 動資産の減少等
固定・繰延資産	1,929	1,922	6	
資産合計	9,023	8,503	519	
流動負債	733	699	34	前受金及び未払法人税等 の減少
固定負債	37	38	0	
負債合計	771	737	34	
資本金	4,958	4,958	0	四半期純損失の計上
資本準備金	2,788	2,788	0	
利益剰余金	504	18	485	
純資産	8,251	7,765	485	
負債・純資産合計	9,023	8,503	519	

再生医療製品事業

ジェイス売上高

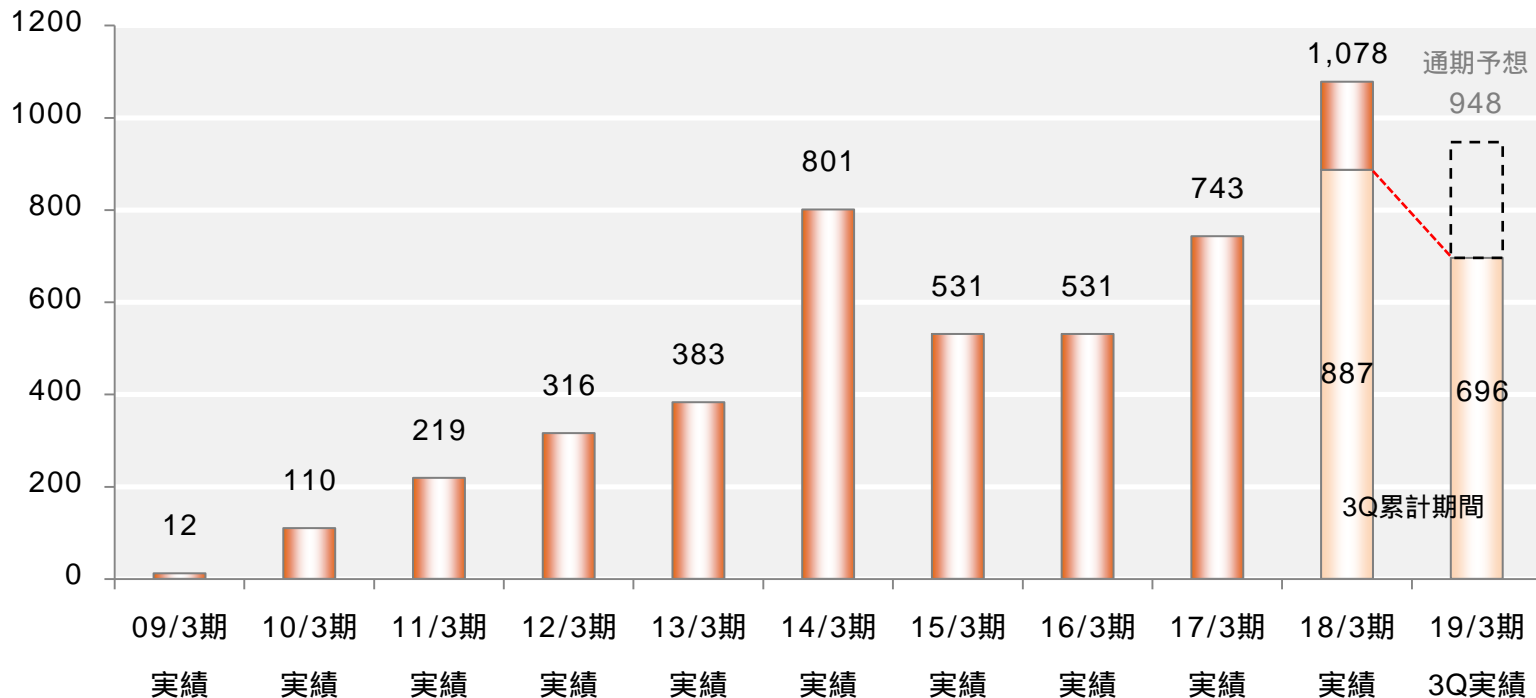


- ✓ 売上高は696百万円で、対前期 190百万円、増減率 21.5%。
- ✓ 売上減少の要因は、

前年に比べ、重症熱傷の発生減により受注が少ない状況が続いた。先天性巨大色素性母斑向けは、安定的に受注を獲得。ただし、販売開始直後で待機患者需要が集中した前年同期に比べると、売上は減少。

(単位：百万円)

ジェイス売上高の推移



再生医療製品事業

ジャック売上高



- ✓ 売上高は281百万円で、対前期+43百万円、増減率+18.2%。
- ✓ 新規施設からの受注も増え、10月には過去最高の単月移植症例数を更新。
- ✓ ジャックの低侵襲化・移植手技の簡便化への対応を進めているが、12月末時点では審査継続中で承認に至らず。

(単位：百万円)

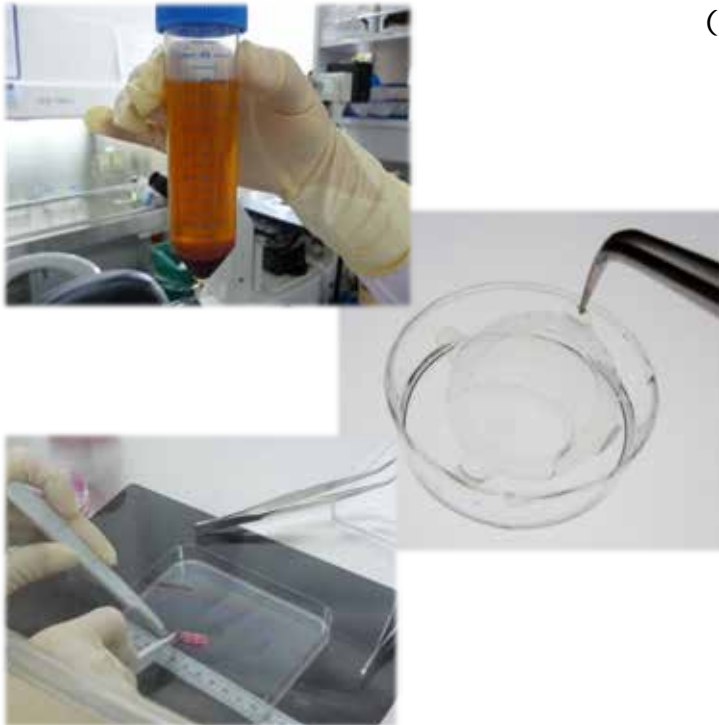
ジャック売上高の推移



受託事業の売上高

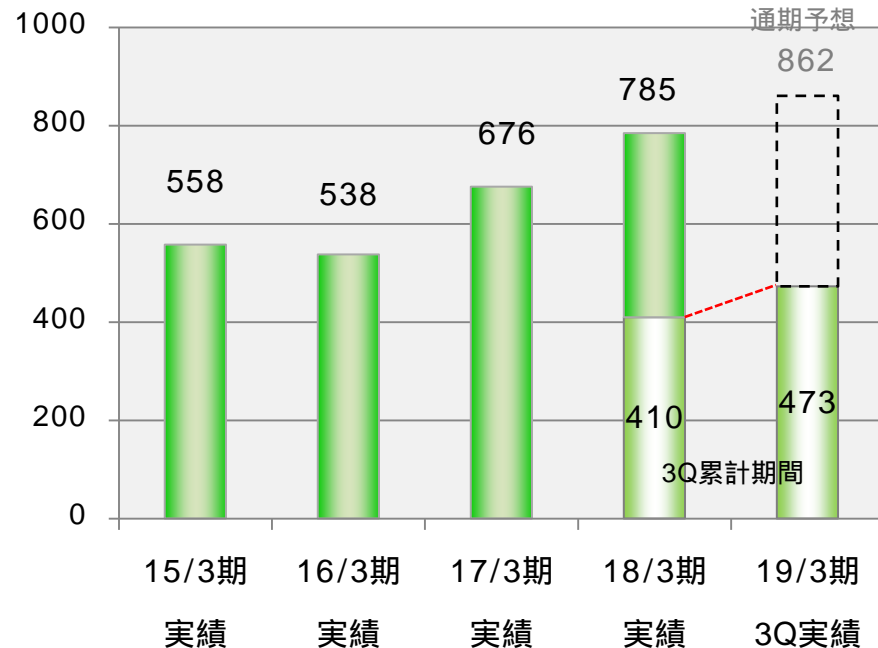
再生医療受託事業

- ✓ 売上高は473百万円で、対前期+62百万円、増減率+15.3%。
- ✓ 再生医療に関する企業の取組みの高まりなどを受け、受託事業の契約顧客数が増加。
- ✓ 自家培養角膜上皮・自家培養口腔粘膜上皮については、製造販売承認申請に向けた準備を進めた。
- ✓ 詳細仕様決定や契約締結に想定以上の時間を要している。



(単位：百万円)

受託事業売上高の推移



17/3期は特許譲渡売上を含まず

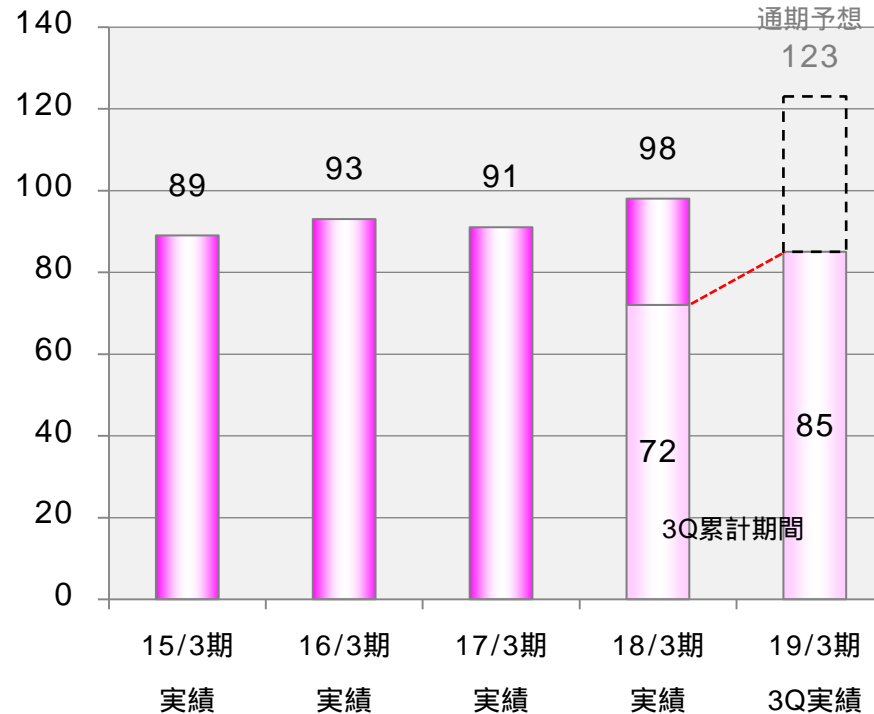
研究開発支援事業

ラボサイトシリーズの売上高

- ✓ 売上高は85百万円で、対前期+13百万円、増減率+18.1%。
- ✓ 国内外の化粧品開発企業や製薬企業向けの営業活動と値上げ効果により売上増。
- ✓ 角膜モデル24を用いた眼刺激性試験法が、6月にOECDのガイドラインに収載。
11月には、エピ・モデル24を用いた皮膚腐食性試験法のドラフトがOECDホームページにて公開。

ラボサイト売上高の推移

ラボサイト エピ・モデル24 (単位：百万円)

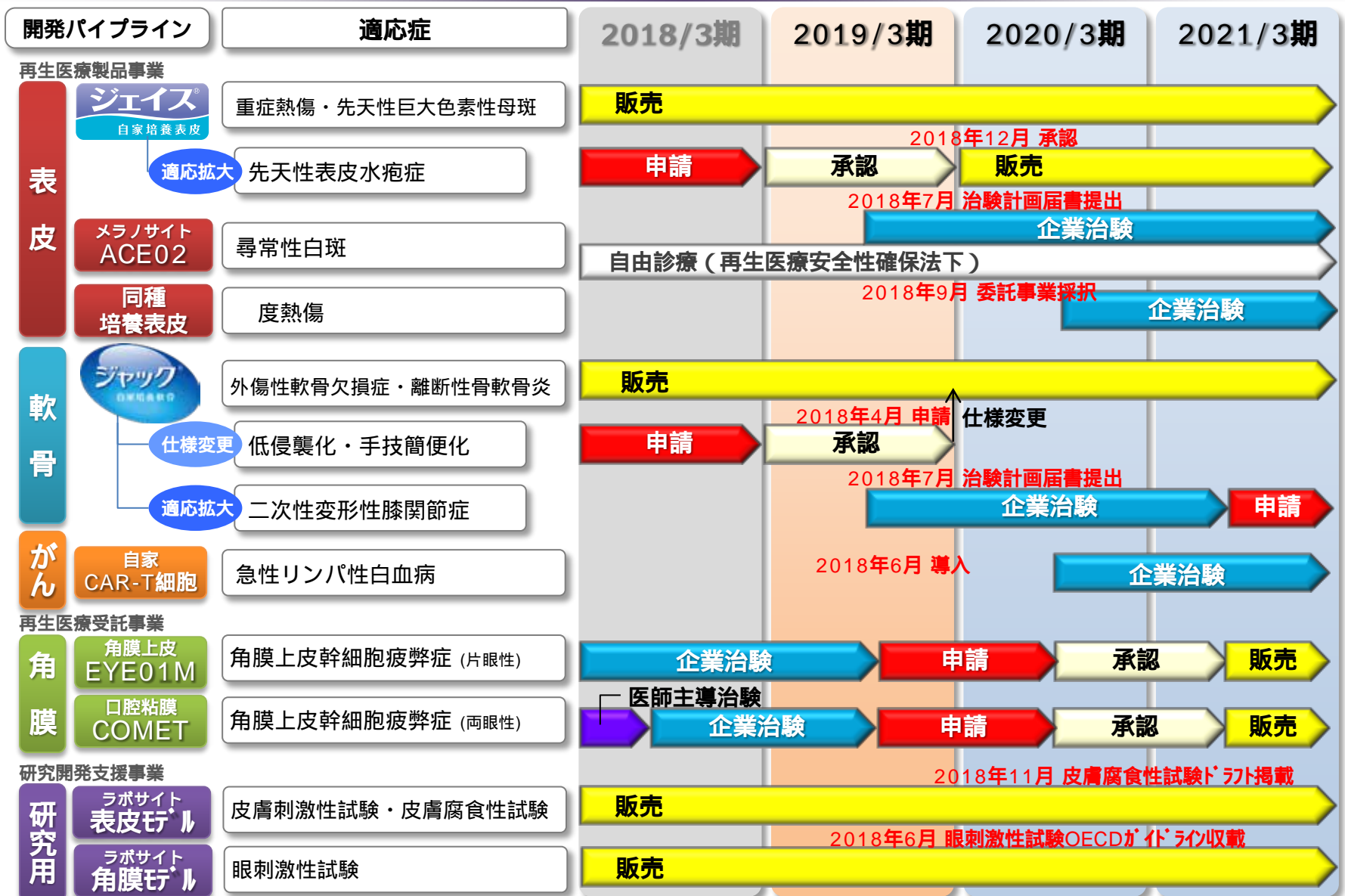


目次

1. 業績予想の修正について
2. 2019年3月期第3四半期の業績
事業セグメント別の実績
 - ü 再生医療製品事業
 - ü 再生医療受託事業
 - ü 研究開発支援事業
3. 開発パイプラインの進展
4. 再生医療の普及に向けた活動



開発パイプラインの進展



ジェイス適応拡大（表皮水疱症）

皮膚領域

- ✓ 2018年12月28日付で、「自家培養表皮ジェイス」の適応対象に表皮水疱症を追加する一部変更承認を厚生労働省より取得。表皮水疱症治療においてもジェイスの普及を目指す。



【適応対象】

1. 重症熱傷
2. 先天性巨大色素性母斑

+

適応拡大

2018年12月28日承認

3. 表皮水疱症
（栄養障害型表皮水疱症及び
接合部型表皮水疱症）

白斑への展開：皮膚の審美治療に向けて

皮膚領域

- ✓ 2018年7月、尋常性白斑およびまだら症といった安定期の白斑の治療を目的として、メラノサイト（色素細胞）を保持した自家培養表皮「ACE02」の治験計画届書を提出。
- ✓ 従来の移植では採取できる皮膚組織の面積が小さいといった課題があるが、本製品は、一度の手術で広範囲を均一に色素再生する新たな治療法を提供するものと期待される。

メラノサイトを保持した自家培養表皮（開発名：ACE02）

治験実施中



メラノサイト



表皮細胞

同種培養表皮の製品化

皮膚領域

「皮膚再建に用いる乾燥同種培養表皮の開発」

国家プロジェクト
AMED委託事業

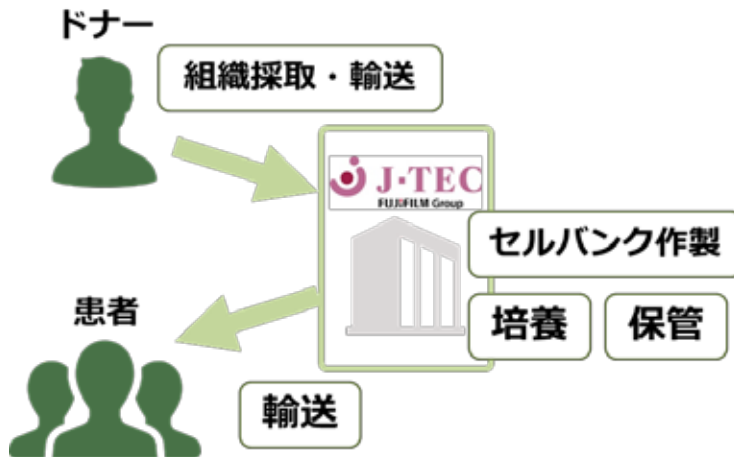
平成30年度

「医療機器開発推進研究事業」

2018年9月5日 採択

- ✓ 当社が有する培養表皮の製造技術、施設を生かし、創傷を早期に治癒させる新たな治療法となる乾燥同種培養表皮を開発する。
- ✓ 「大量生産 価格低下 普及」が期待でき、我が国の再生医療の産業化に貢献することを目指す。

同種細胞を用いた再生医療等製品の流れ



乾燥同種培養表皮 (医療機器)



未使用時 (乾燥)



使用時 (含水)

同種細胞の安定供給に向けた体制構築

皮膚領域

「同種細胞を用いた再生医療のための産業利用を
目的としたヒト細胞及び組織の安定供給の実証」

モデル事業B（医療機関を支援し、企業への原料供給を仲介する供給体制を構築する事業）

- ✓ ドナーのインフォームドコンセント取得とスクリーニング、医療機関内の申請、採取に係る輸送手配をシステム化するとともに、その運営工数を明確化することにより透明性が高く維持管理が可能な安定供給モデルを構築する。
- ✓ 国内の製品開発を加速させ、広く国民の治療に応用されることにより、純国産型の再生医療の産業化が達成されることを目指す。

国家プロジェクト
AMED委託事業

平成30年度

「再生医療の産業化に向けた
評価基盤技術開発事業」

2018年9月10日 採択



ジャック 低侵襲化・移植手技簡便化

軟骨領域



自家培養軟骨

✓ 2018年4月、ジャックの低侵襲化・移植手技簡便化に向けた一部変更承認申請書を提出。12月末時点では審査継続中で承認に至らず。

審査継続中

✓ 患者の脛骨から骨膜を採取するのではなく、人工のコラーゲン膜を使用し、患者の身体的負担の軽減ならびに医師の移植手技の簡便化を図る。

【現在の自家培養軟骨の移植フロー（膝関節）】

現在

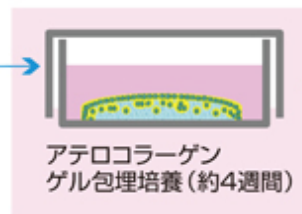
今後



軟骨の一部を採取



軟骨組織



アテロコラーゲンゲル包埋培養（約4週間）



培養軟骨を移植し、脛骨から採取した骨膜で蓋をする



患者の骨膜の代わりに人工のコラーゲン膜を使用する。

ジャック適応拡大（二次性OA）

軟骨領域



- ✓ 2018年7月、外傷等に起因する二次性の変形性膝関節症を対象とする治験計画届書を提出。
- ✓ すでに膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎の治療に使用されているジャックの適応拡大を目指す。

治験実施中

適応拡大：

外傷等に起因する
二次性の変形性膝関節症

+



現在の適応症：
膝関節における外傷性軟骨欠損症
又は離断性骨軟骨炎
(変形性膝関節症は除く)

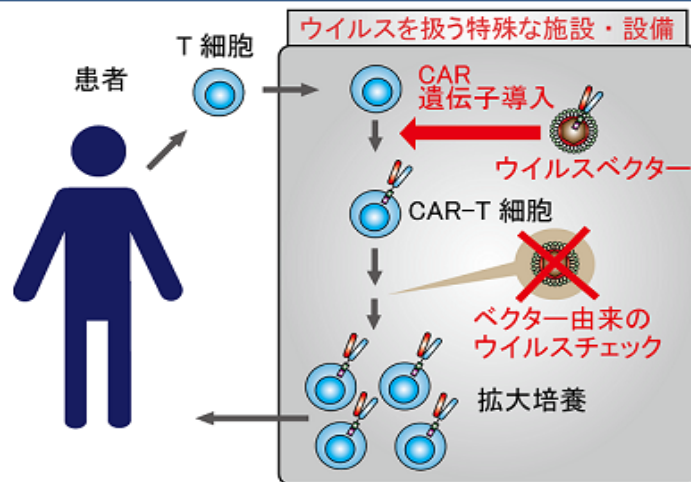
CAR-T治療の導入：がん治療への展開

がん領域

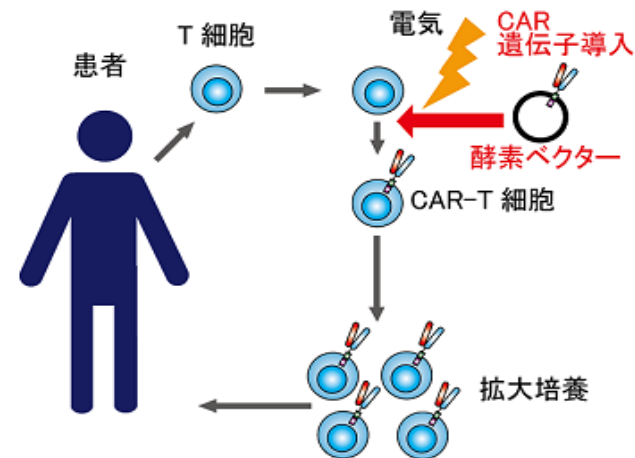
導入

- 2018年6月、当社は、名古屋大学・信州大学と「CD19陽性の急性リンパ性白血病を対象とする自家CAR-T細胞治療薬」の開発、製造、販売における特許実施許諾契約を締結。
- 名大・信州大の特許技術の特長は、「CAR-T細胞」の製造法にある。
 CAR遺伝子の導入に高額なウイルスベクターを使わず、安価な酵素ベクターを用いる。
 ウイルスベクターを使わないため、特殊な施設・設備・ウイルスチェック検査が不要。
従来より低コストで自家CAR-T細胞治療薬を製造することが期待できる。
- 当社がこれまで培ってきた自家細胞の取り扱い実績・ノウハウ・設備等を活用し、
信頼性の高い、高品質な自家CAR-T細胞治療薬の供給を目指す。

従来の製造法



名大・信州大が共同開発した製造法



角膜モデル 眼刺激性試験法ガイドライン収載

日用品などの安全性試験において、
より信頼性の高い動物実験代替法として活用可能に

収載

- ✓ ヒト3次元培養角膜上皮「ラボサイト 角膜モデル24」を用いた眼刺激性試験法が、OECDテストガイドライン492(TG492)に収載。
- ✓ 日用品、医薬品、化粧品、化学品メーカーなど、化学物質を扱う企業向けに、より信頼性の高い動物実験代替法として「ラボサイト 角膜モデル24」による安全性試験を提案していく。



ラボサイト 角膜モデル24

OECDテストガイドライン492 (TG492) :

化学物質の特性や安全性を評価する試験方法を国際的に共通化することを目的とした経済協力開発機構 (OECD) のガイドライン、ヒト角膜上皮の生化学的・生理学的特性に極めて類似するよう設計された、ヒト角膜上皮モデルを用いて化学物質の眼刺激性を評価する試験法。

【 OECDホームページ 英文 】

https://www.oecd-ilibrary.org/environment/test-no-492-reconstructed-human-cornea-like-epithelium-rhce-test-method-for-identifying-chemicals-not-requiring-classification-and-labelling-for-eye-irritation-or-serious-eye-damage_9789264242548-en

皮膚腐食性試験法ガイドライン収載に向けて

研究用

- ✓ ラボサイト エピ・モデル24を用いた皮膚腐食性試験法についても、OECDテストガイドライン収載を目指し活動中。
2018年11月、同ガイドライン（OECD TG431）のドラフトがOECDホームページで公開され、収載に向けて着実に前進。

ドラフト掲載



ラボサイト エピ・モデル24



出所) OECDホームページ :

<http://www.oecd.org/env/ehs/testing/section4-health-effects.htm>

目次

1. 業績予想の修正について
2. 2019年3月期第3四半期の業績
事業セグメント別の実績
 - ü 再生医療製品事業
 - ü 再生医療受託事業
 - ü 研究開発支援事業
3. 開発パイプラインの進展
4. 再生医療の普及に向けた活動



再生医療の普及に向けた活動（1）

ひざ軟骨治療

- ▽ ひざ軟骨治療に関する情報サイト「再生医療ナビ」に、自家培養軟骨移植術を受けたスポーツ選手の体験談（プロバレーボールの逆瀬川選手）、新たなドクターインタビュー（北里大学研究所病院 月村先生）、社員が踊る「軟骨コツコツ体操」を掲載。

逆瀬川選手のインタビュー



北里大学研究所病院
月村先生のインタビュー



軟骨コツコツ体操（J-TEC社員編）



ひざの再生医療のことなら「再生医療ナビ」<http://saisei-navi.com/hiza/>

再生医療の普及に向けた活動（2）

- ▽ 蒲郡再生医療産業化推進委員会を通じて蒲郡市と連携し、市民の皆様を対象に再生医療への関心を持ってもらい、正しい知識を深めていただくためのイベントを開催。

小学生を対象とした体験講座

プラナリアの再生実験



切っても再生する生物
プラナリア



細胞の観察



別々世未来の研究者!!

わくわく♪再生医療講座

8/25土・9/8土

体験いっぱい楽しく学べる

- ★切っても死なない生物「プラナリア」をつかまえて切ってみよう!
- ★蒲郡のスゴい会社J-TECって!?
- ★自分の細胞を見てみよう!
- ★皮膚の移植を体験しよう!

【問合せ】 蒲郡市企画推進課 0523-66-1162
 【文】 蒲郡市立医療センター 蒲郡市民会館
 【場】 蒲郡市立医療センター 蒲郡市民会館
 【料】 無料 (交通費を自己負担)



培養表皮サンプル移植体験

市民を対象とした再生医療講座

ご講演の様子



細胞で生命を救う

再生医療の未来

1/19 土曜日

時間 ▶ 14:30～16:50 (16:00開演)

会場 ▶ 蒲郡市工芸館 3F 301号室 (蒲郡市立医療センター 蒲郡市民会館 蒲郡市民会館)

定員 ▶ 70名 (先着順)

参加費 ▶ 無料

講師 ▶ 高橋 義行氏 (名古屋大学小児科学教授)

講演内容 ▶ 「細胞で生命を救う」再生医療の未来と課題、再生医療の現状と課題、再生医療の未来と課題、再生医療の未来と課題

講演内容 ▶ 「再生医療の未来と課題」再生医療の未来と課題、再生医療の未来と課題、再生医療の未来と課題

講演内容 ▶ 「再生医療の未来と課題」再生医療の未来と課題、再生医療の未来と課題、再生医療の未来と課題



名古屋大学小児科学教授
高橋氏がCAR-Tに関する
研究についてご講演。
講演の様子は、テレビで
も取り上げられた。



展示ブース

再生医療の普及に向けた活動（3）

- ✓ 「再生医療を当たり前なものにし、一人でも多くの人に届けるために」というテーマで、作家 瀬名秀明氏とJ-TEC代表取締役 畠賢一郎が対談を実施。

FUJIFILM
Values from Innovation

楽しい100歳とは。

104歳空着ドキュメンタリー

スペシャル対談

「楽しい100歳。」を読む

広告アーカイブ

TOP / スペシャル対談 #03

楽しい100歳。



#03

[ツイート](#) [いいね!](#) [シェア](#)

出所) 富士フイルム「楽しい100歳」スペシャル対談サイト:

<http://brand.fujifilm.co.jp/healthcare/interview/interview3.html>

参考資料



事業セグメント

再生医療製品事業 医薬品医療機器等法

自家培養表皮



製品写真



外装写真

自家培養軟骨



製品写真



外装写真

再生医療受託事業

医薬品医療機器等法

開発製造受託 (CDMO)

開発業務受託 (CRO)

再生医療等安全性確保法

コンサルティング

特定細胞加工物製造受託

CDMO : Contract Development and Manufacturing Organization, CRO : Contract Research Organization

研究開発支援事業

ラボサイト

(研究用ヒト培養組織)



製品写真



外装写真

ヒト3次元培養表皮

ラボサイト

エピ・モデル12

エピ・モデル24

エピ・キット(作成用)


ヒト3次元培養角膜上皮

ラボサイト角膜モデル24

(数字はウェル数)

J-TECの再生医療等製品

再生医療製品事業

	 <p>自家培養表皮</p>			 <p>自家培養軟骨</p>		<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">NEW</div> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">メラノサイトを保持した 自家培養表皮</div> <p>開発名：ACE02</p>
製品写真						
基本技術の導入元	米ハーバード大学 Howard Green 教授			広島大学 越智 光夫 教授		米ハーバード大学 Howard Green教授
適応対象	重症熱傷	先天性 巨大色素性母斑	<div style="background-color: blue; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">適応拡大</div> <p>先天性 表皮水疱症</p>	膝関節における 外傷性軟骨欠損 症又は離断性骨 軟骨炎	<div style="background-color: blue; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">適応拡大</div> <p>外傷等に起因す る二次性変形性 膝関節症</p>	尋常性白斑
承認状況	製造販売承認 2007/10 保険収載 2009/01	一部変更承認 2016/09 保険収載 2016/12	<div style="background-color: red; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">一部変更承認 2018/12</div>	製造販売承認 2012/07 保険収載 2013/04	<div style="background-color: red; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">治験計画届 2018/7</div>	<div style="background-color: red; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">治験計画届 2018/7</div>
特記事項	国内第1号の 再生医療等製品	初の適応拡大	さらなる 適応拡大	国内第2号の 再生医療等製品	適応拡大	皮膚科領域

注) 再生医療製品事業の開発パイプラインのみ (自家培養角膜上皮は再生医療受託事業に分類)

自家培養表皮ジェイス



【適応対象】

1．重症熱傷

受傷面積として深達性 Ⅱ度及び Ⅲ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象。

2．先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療など、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用。

3．栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用。

【保険償還価格】（2016年4月～）

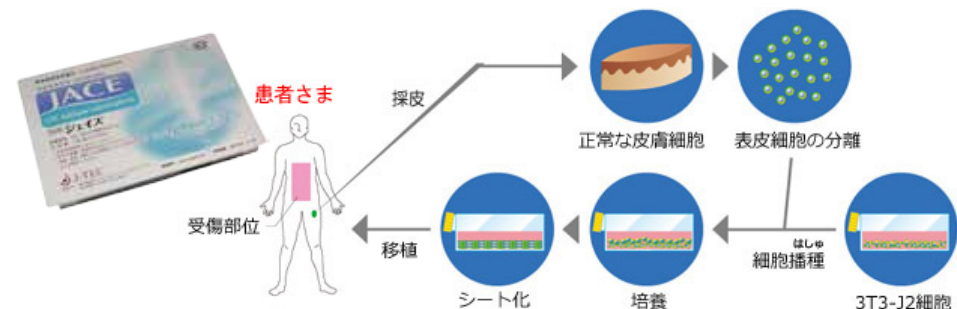
表皮水疱症は保険申請予定

採取・培養キット：4,380千円

調製・移植キット：151千円/枚

算定限度：40枚（熱傷）ただし、医学的に必要がある場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載した上で50枚を限度として算定できる。・30枚（母斑）

（2016年3月迄の旧価格：314千円/枚）



自家培養軟骨ジャック



【適応対象】

膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎（変形性膝関節症を除く）の臨床症状の緩和。ただし、他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が4cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る。

【保険償還価格】（2016年4月～）

採取・培養キット：879千円

調製・移植キット：1,250千円

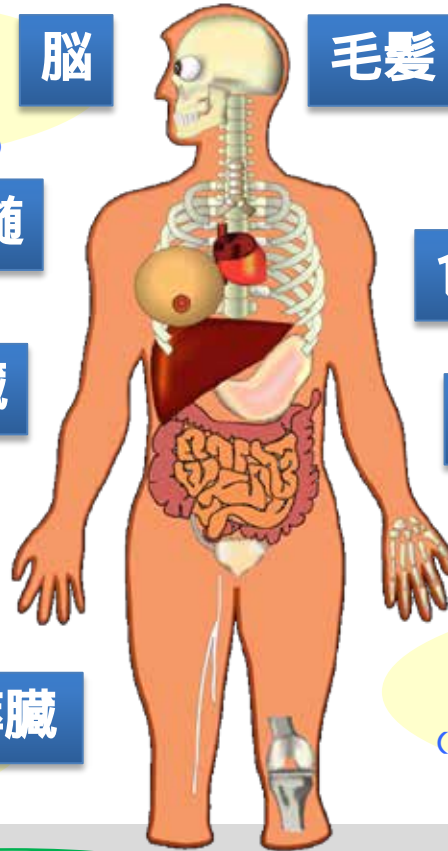
（使用した個数に係らない）

（2016年3月迄の旧価格：2,130千円/膝）



再生医療の概況

(出所) 厚生労働省資料等から抜粋して作成



脳

ニプロ (自己間葉系幹細胞) (同種骨髄由来多能性前駆細胞)
ヘリオス
サンバイオ (ヒト体性幹細胞加工製品) (遺伝子組換えウイルス)
第一三共 (遺伝子組換えウイルス)

毛髪

資生堂 (毛根細胞)

(承認品目)
(開発中)

眼

J-TEC (自家培養角膜上皮・自家培養口腔粘膜)
ヤンセンファーマ (臍帯組織由来細胞)

脊髄

承認済 ニプロ (自己骨髄間葉系幹細胞) 「ステミラック」

食道

セルシード (口腔粘膜由来食道細胞シート)

心臓

承認済 テルモ (自己骨格筋芽細胞由来細胞シート) 「ハートシート」
日本再生医療 (自家心臓内幹細胞)

皮膚

承認済 J-TEC (自家培養表皮) 「ジェイス」
JCRファーマ (同種間葉系幹細胞) 「テムセル」
イシンファーマ (他家脂肪組織由来間葉系幹細胞シート)

動脈

アンジェスMG (遺伝子治療薬)
アイロムグループ (塩基性繊維芽細胞増殖因子治療薬)

軟骨

承認済 J-TEC (自家培養軟骨) 「ジャック」
富士ソフト (自己細胞再生軟骨)
ツーセル (同種滑膜間葉系幹細胞)
オリンパスRMS (自家培養軟骨細胞)

脾臓

テラファーマ (樹状細胞ワクチン)

スギ花粉症

アステラス製薬 (DNAワクチン)

急性GVHD

JCRファーマ (同種間葉系幹細胞) 「テムセル」 承認済

CAR-T細胞

ノバルティスファーマ
タカラバイオ 第一三共
J-TEC

固形がん

タカラバイオ 杏林製薬
ウィック・バイオテック・ファーマ
オンコリスバイオファーマ

京都大学CiRA
富士フイルム 武田薬品工業
大日本住友製薬

iPS細胞

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含みますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

経営管理本部

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp